

第3章 子どもの読書活動の現状

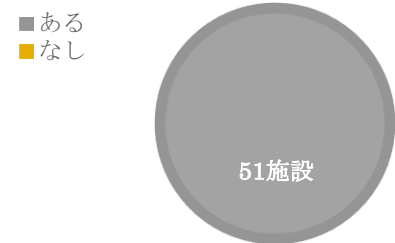
本市の幼児教育・保育施設、小・中学校、高等学校を対象に未就学児、児童、生徒の読書状況についてアンケート調査を実施しました。アンケート結果は以下のとおりです。

I 幼児教育・保育施設

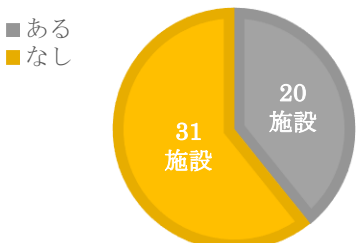
令和4年12月に市内幼児教育・保育施設88施設を対象にアンケート調査を実施し、51施設から回答がありました。

◎絵本の保有状況、絵本の活用状況

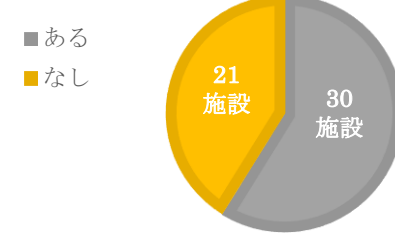
① 園児が自由に利用できる絵本



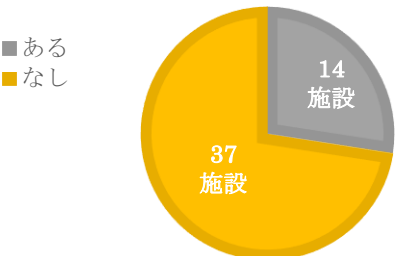
② 保護者が自由に利用できる絵本



③ 園児が絵本を読む専用の場所



④ 保護者への絵本の貸出



⑤保護者への絵本の月間貸出状況について（貸出を実施している14施設のみ対象）

・10冊未満	4施設	・10～100冊未満	7施設
・100～200冊未満	1施設	・200冊以上	2施設

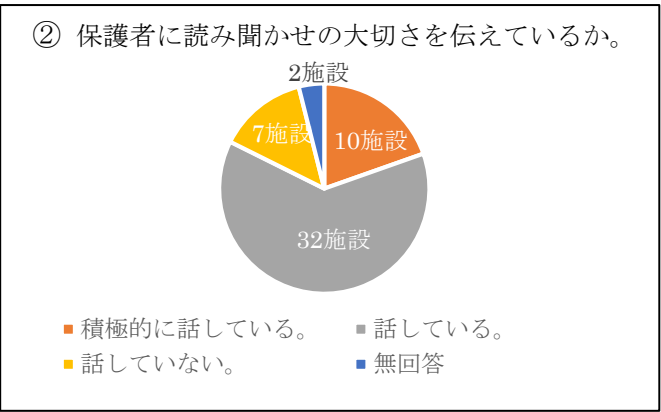
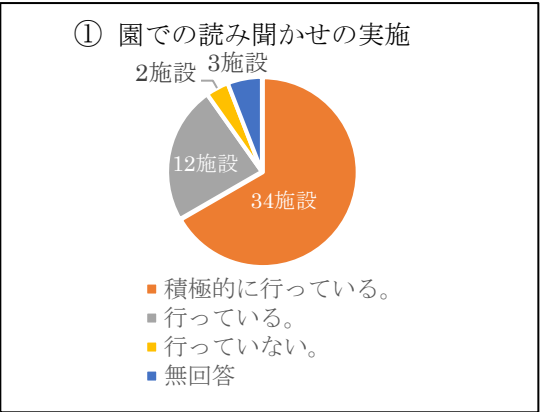
⑥絵本の蔵書数			
・ 100 冊未満	1 施設	・ 100 冊～300 冊未満	19 施設
・ 300 冊～500 冊未満	9 施設	・ 500 冊～1,000 冊未満	7 施設
・ 1,000 冊以上	12 施設	・ 無回答	3 施設

⑦昨年度新たに購入した絵本の冊数（寄贈は除く）			
・ 0 冊	5 施設	・ 1～10 冊	16 施設
・ 11～20 冊	8 施設	・ 21～30 冊	8 施設
・ 31～50 冊	5 施設	・ 51～100 冊	6 施設
・ 無回答	3 施設		

回答のあった全ての施設において、園児が自由に利用できる絵本を備えており、園児たちが絵本に親しめる環境を整えています。また、園児が絵本を読む専用の場所を設けている施設が半数を越えていることから、幼児期に絵本にふれることの大切さを認識していると言えます。

絵本の蔵書数についても500冊以上備えている施設が全体の37%以上あり、蔵書数が少ない施設については、図書館の団体貸出を利用しているところもありました。

◎絵本の読み聞かせの状況



③保育時間内の読み聞かせを外部の団体等に依頼しているか。			
・依頼している	11 施設	・依頼していない	35 施設
・依頼したいと考えている	2 施設	・無回答	3 施設

幼児教育・保育施設における絵本の読み聞かせについては、ほとんどの施設で実施されており、職員のみに対応ではなく、外部団体等に協力を依頼している施設もありました。

また、保護者に対しても、ほとんどの施設で、幼少期の絵本の読み聞かせの大切さを保護者会やお便り等を通じて伝えています。

Ⅱ 小・中学校

毎年、県の教育委員会が実施する「学校図書館及び読書に関する調査」に、市立小学校37校、中学校19校が回答した過去3年間の調査結果は次のとおりです。

◎1か月当たりの読書冊数(小学校)

(冊)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
令和2年9月	19.7	22	16.7	18.3	11.1	10.2	16.2
令和3年5月	19.7	21	17.5	17.3	13.5	12.2	16.8
令和4年5月	15.7	23.8	14.8	14.9	12.4	11.1	15.4

◎1か月当たりの読書冊数(中学校)

(冊)

	中学1年	中学2年	中学3年	平均
令和2年9月	5.5	4.4	2.6	4.2
令和3年5月	5.9	5.2	3.1	4.2
令和4年5月	6.4	4.1	3.2	4.6

◎1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒

	小学生の数	全体の割合	中学生の数	全体の割合
令和2年9月	176 / 10,162 人	1.7%	697 / 4,502 人	15.5%
令和3年5月	168 / 9,332 人	1.8%	530 / 4,580 人	11.6%
令和4年5月	205 / 9,226 人	2.2%	758 / 4,601 人	16.4%

◎1年間の学校図書館の貸出冊数

(小学校)

(冊)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小学校合計
令和2年9月	154,578	158,507	140,197	124,247	106,993	97,525	780,877
令和3年5月	164,161	147,862	128,411	144,250	97,339	94,895	776,918
令和4年5月	158,383	155,560	122,731	125,577	102,447	88,215	752,913

(中学校)

(冊)

	中学1年	中学2年	中学3年	中学校合計
令和2年9月	38,108	24,925	14,770	77,803
令和3年5月	37,229	28,588	12,683	78,500
令和4年5月	33,932	31,975	18,254	84,161

◎読書をすることが「好き」、又は「どちらかというと好き」と答えた子どもの割合

(小学校)

(%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
令和2年9月	91	90	90	84	80	78
令和3年5月	88	92	89	88	86	82
令和4年5月	86	91	85	87	84	78

(中学校)

(%)

	中学1年	中学2年	中学3年
令和2年9月	76	71	70
令和3年5月	78	74	72
令和4年5月	74	66	66

本市の小学生1か月当たりの読書冊数平均は、令和4年5月の学校読書調査（公益財団法人図書館協議会）の小学生全国平均の13.2冊と比べても15.4冊と上回っています。高学年になるにつれて読書冊数が減る傾向にありますが、実際に図書館で見られる状況として、高学年はページ数の多い本を読んでいるため、全学年において読書時間には差がなく、どの学年もよく読書に取り組んでいます。

中学生になると、読書冊数が減る傾向にありますが、本市は4.6冊で、全国平均の4.7冊と比べて、ほとんど変わらない状況にあり、1週間に1冊程度は読んでいることがわかります。

しかし、1か月に1冊も本を読まなかった生徒が、全体の16.4%程度いるため対策が必要です。

Ⅲ 高等学校

令和4年12月に、市内高等学校10校を対象とし「都城市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート調査」を実施したところ、国公立高校7校から回答がありました。

◎学校図書館の設置状況について

①図書館を管理する専門職員（司書）は配置していますか。	
・いずれも1人配置	（※都城工業高等専門学校は0人）

②蔵書数			
・10,001～20,000冊	2校	・20,001～30,000冊	2校
・30,001～40,000冊	1校	・40,001～50,000冊	1校
・60,001～70,000冊	1校		

◎学校図書館の利用状況について

①年間利用者数			
・1,001～2,000人	2校	・2,001～3,000人	1校
・4,001～5,000人	2校	・10,000～15,000人	1校
・無回答	1校		

②1日平均利用者数			
・1～20人	3校	・21～30人	2校
		・71～80人	1校
		・無回答	1校

③年間の貸出状況			
・901～2,000冊	1校	・2,001～3,000冊	3校
・3,001～4,000冊	1校	・4,001～5,000冊	2校

高等学校においても、学校図書館に司書を配置し、読書活動の推進に努めています
が、図書館の利用と本の貸出冊数については、小・中学生と比べると大きく減少して
います。また、高校生の1か月の読書量は、全国平均で1.6冊となっており、中学
生と比べて減少傾向にあります。

◎読書活動に関する取組について

取組項目	あり	なし
①読書感想文コンクールの実施	4校	3校
②ビブリオバトル※の実施	5校	2校
③学校図書館と授業との連携	5校	2校
④その他の取組	・朝の10分間読書 4校 ・集団読書（年間3回）1校 ・ブックハンティング※ 1校	

生徒に読書の興味を高めさせる取組として、読書感想文コンクールやビブリオバトル
の実施をしており、朝の10分間読書にほぼ毎日取り組んでいる学校もありました。

◎生徒図書委員について

①生徒図書委員数			
・15～20 人 3 校	・21～30 人 1 校	・31～40 人 2 校	・41～45 人 1 校

②生徒図書委員の主な活動			
・ 昼休み、放課後のカウンター業務	5 校	・ 図書館行事	2 校
・ 図書館だよりの作成	4 校	・ ビブリオバトルの運営	2 校
・ 蔵書点検、清掃	1 校	・ 他校との図書委員交流会	6 校

生徒の読書活動の推進のための取組として、朝読書のための学級文庫の設置や「推
し本」投票・レビュー（書評）作成、新入生向け図書館オリエンテーションなども実施
しています。

また、図書委員は他校との交流会を定期的に行い、情報交換による読書活動の推進
も行っています。

※ビブリオバトル…書評をしながら本を紹介して、本を通じてその人を知る、ゲーム感覚の本の討論会

※ブックハンティング…学生たちが実際に書店へ行き、図書館に置きたい本を選ぶイベント